

西陵中学校区

令和2年7月発行 第3号

小中一貫教育校創設協議会だより

※竹の里・福西両自治連合会、3校学校運営協議会、PTAの各代表者、3校校長で組織する「西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」が発行し、両地域の各家庭に配布しています。

◆第3回「小中一貫教育校創設協議会」の概要

～「一次統合校の校名(案)」が決定しました。「新校舎整備基本計画」の検討を開始しました。～

6月18日(木)に新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえ「第3回西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会」を西陵中学校において開催しました。

協議会では、昨年度から検討を進めてきた「一次統合校の校名」について最終的な協議を行いました。また、新校舎の建物配置や諸室配置等を議論するワークショップについて、参加メンバーや進め方の確認をしました。



一次統合校の校名(案)は「竹の里」小学校に決定しました!

令和4年度に統合予定の竹の里小学校と福西小学校の一次統合校の校名(校歌・校章を含む)について、昨年11月以降に両校PTAで協議され、両校のPTA総会において「竹の里」小学校とすることが決議されるとともに、福西自治連合会(3月26日)において、本PTA決議を尊重することが確認されたと報告されました。

こうした経過報告を受け、創設協議会として以下のとおり最終決定しました。

- ・ 一次統合校の校名は「竹の里」とし、校歌・校章についても、竹の里小学校の現行のものを使用することを地元案とする。
- ・ 創設協議会として、今後、教育委員会へ校名要望書を提出する。

校名の地元案は竹の里小学校としますが、一次統合校では、対等な統合として両校の教育内容を融合し、小中一貫教育校につながる新たな学校づくりを進めます。

新校舎整備基本計画の策定に向けた取組がスタートしました!

令和7年度開校予定の施設一体型小中一貫教育校の創設に向けて、小学校1年生から中学校3年生までの9学年全ての子どもたちが共に学ぶことができる魅力溢れる校舎が、福西小学校敷地に建設される予定です。今年3月には、新校舎整備基本計画策定のための予算が京都市会で議決・承認され、今年度、基本計画の策定作業が進められます。

基本計画の策定に際しては、子どもたちのより良い教育環境の実現はもとより、新校舎が地域のシンボルとなり、地域の皆様に愛される学校とするために、地域や保護者の皆様・学校関係者によるワークショップを開催し、行政の方々と共に知恵を絞ることとしました。

6月18日(木)に第1回目のワークショップを開催しました。詳細は裏面をご覧ください。



▲ワークショップの様子

ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

■西陵中 TEL 332-0671 FAX 332-0672
e-mail:seiryo-c@edu.city.kyoto.jp

■竹の里小 TEL 332-3745 FAX 332-3746
e-mail:takenosato-s@edu.city.kyoto.jp

■福西小 TEL 332-0688 FAX 332-0689
e-mail:fukunishi-s@edu.city.kyoto.jp

新校舎整備に係る第1回ワークショップを開催 新しい小中一貫教育校の施設整備について考えよう！

令和2年6月18日（木） 於：西陵中学校体育館

6月18日、竹の里・福西の両地域や3校学校運営協議会・PTAの代表、3校の管理職及び教員、京都市の担当者等によるワークショップを開催しました。安井建築設計事務所（基本計画策定業務受託者）がファシリテーター（進行役）となり、新校への夢や希望を語り合いました。

- ① ファシリテーターから、ワークショップのルールや計画地の法的条件などの説明を受けた後、地域や学校の枠を超えて4つのグループに分かれ、意見交流が始まりました。
- ② 各グループでは、「今の小学校や中学校施設での良い点、困った点」を意見交流した後、「新しい小中一貫教育校への想いや活動のイメージは？建物配置はどうか？」について、子どもたちの教育活動や地域の方との交流などの視点から、各自の想いやイメージを描き、グループ内で意見を出し合い、活発な意見交流が行われました。
- ③ 最後に、各グループから代表者が話し合いの内容を発表し、全員で意見交流をしました。子どもたちの未来のため、地域の発展のために、真剣に議論しました。



ワークショップで出された新校舎に関する意見やアイデアの一部を紹介します。

- 校舎全体 明るく広い玄関／できるだけ小学生と中学生が交流できる配置／子どもが増えても対応できる校舎／どの年齢でも利用できる施設
- 校舎配置 外に出なくても校舎間を移動できる配置／教室から運動場が見える配置／住宅からの視線に配慮／通学に配慮した校門の設置／動線を意識した運動場・下駄箱の配置
- 教室 ICTの充実／高さが調節できる黒板・ホワイトボード／学年（全体）が集まれる広い部屋／パソコンが使える広い図書室／図書室に自習スペース／更衣室／茶室・和室／自由に使えるカフェ的なスペース／シアタールーム／グラウンドから入れるPTA室／地域が使えるスペース／教育施設とその他施設のゾーニング（分ける）
- 管理諸室 廊下から全体が見渡せる職員室／教科担任制を想定した職員室／小中合同の教員研修・研究ができる教室／各フロアに教員の教材室
- 運動場 南側に配置／屋根のあるエリアの設置／安全に遊べる遊具／児童館による使用
- 体育館 舞台の充実／用具室の充実／シャワー室
- プール 水位調節／屋内温水プール
- 共用スペース 広く明るい廊下／芝生スペース／低学年の遊び場／異学年交流スペース・テラス
- 安心安全 エレベーター設置／感染症対策に配慮した施設／避難所に用具室／通学路の安全
- その他 自校調理できる給食室／エントランスなどに竹を使う／個人用ロッカー／2足制／低学年は長靴が入る下駄箱／学校内児童館

※ 法令や技術的問題、予算等の制約があり、全てのご意見が実現されるわけではありませんが、今後も様々な視点から検討を進めていきたいと思っております。

次回のワークショップでは、第1回ワークショップでいただいたご意見等を基に作成する「ゾーニング図（諸室配置図）」のほか、「新校舎の外観デザインコンセプト」など具体的な検討を進めてまいります。